

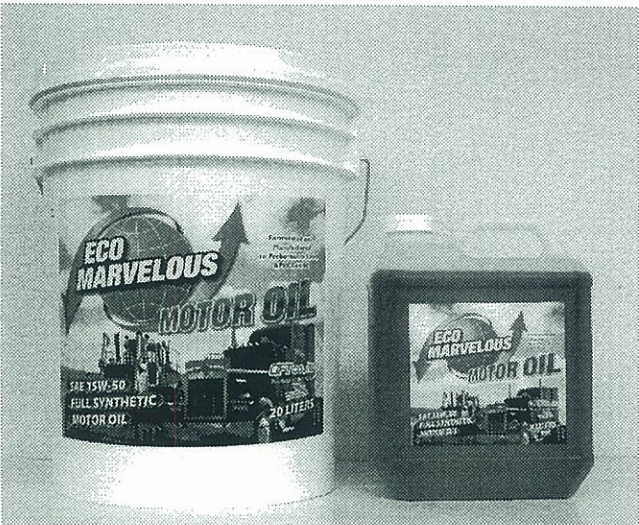
## 15万km交換不要のエコオイル、タクシー大手にも導入広がる

### オフト

トラック分野に続き、国際興業大阪が本格導入を検討

15万キロ交換不要の100%化学合成エンジンオイル「エコマーベラスモーターオイル」を販売するオフト(本社・東京都文京区、森川正社長、電話03-5842-3833)はこのほど、タクシー大手の国際興業大阪が同オイルを導入したと発表した。昨年10月から新車3台、使用中の車両(平成17年式)3台の計6台にエコマーベラスオイルを導入して経過を観察してきたが、導入から半年が経ってもオイルの劣化が見られず、交換の必要がなかった。国際興業大阪では、グリーン経営の面から廃オイルの削減などに取り組んでおり、今回の試験導入の結果が良好だったことから、今後はタクシーでの大量導入に加え、バス車両などでの導入についても検討していく。

オフトは約6年前から石油類を一切含ま



ない100%化学合成オイルの国内販売をスタートし、主にトラック車両を中心に導入を図ってきた。07年11月には米国の化学オイルトップのセーベラス社との業務提携が実現、大量生産に対応できる体制を確立するとともに、約30社で構成される代理店組織「オフト・マーベラス会」をつくり、販売体制も強化している。

これまでにトラックだけで2500台を超える車両に同オイルを導入してきたが、用途先は「自動二輪車や自動車類、建設車両、船舶から発電機まで幅広く、今後はトラックだけにとどまらない広範な販路を構築していきたい」(尾島幸也専務)としている。今回のタクシー分野での導入についても「業界大手である国際興業大阪さんが本格導入に踏み切っていただければ、タクシー業界内での広がりが期待できる」(同)と語る。

エコマーベラスオイルを導入した場合、従来オイルと比べて初期費用は高くなるものの、約3000キロ走行するごとに交換が必要になる従来オイルに比べランニングコストがかからないため、大幅なコストメリットがある。例えば、エコマーベラスオイルを4リットル使用した場合、15万キロ走行までにかかるコストは3万6400円(うち初期費用は3万800円)であるのに対し、従来オイルでは9万8600円かかる。このほか、エンジン性能が向上することで燃費向上も期待できるほか、廃オイルの削減につながることで環境負荷軽減につながるメリットもある。